

建設技術展示館に展示

フルパッケージ型LPガス非常用発電機

エレテクス

エレテクス(長崎県佐世保市、山口正利社長)は、千葉県松戸市の建設技術展示館において12月2日から2年間、



筐体型LPガス非常用発電機Ⅱ中央エンジン、自動始動制御機器、LPガス容器をすべて1筐体内に収めたフルパッケージ型

筐体型LPガス非常用発電機(エンジン)、自動始動制御機器、LPガス容器をすべて1つの筐体内に設置した「フルパッケージ型LPガス非常用発電機」を展示。2日にはオープニングセレモニーが盛大に行われた。

同社は、これまで可搬型の中型LPガス非常用発電機「ENESISシリーズ」の取り扱いを行ってきたが、本年、筐体型LPガス非常用発電機(型式:EB11000、定格出力:1kVA)を開発



山口正利社長

オープニングセレモニー(2日)にブースを訪れた関係者



能。また、LPガス容器を取り替えることにより、運転を停止せず長時間運転が可能となっている。

同発電機の販売は来年4月よりスタートする。山口社長は「展示する2年間に実績をつくって販売台数が徐々に増えていけばうれしい」とし、フルパッケージという画期的なタイプのLPガス発電機の認知度アップを図り、LPガスの利便性・優位性をもアピールしていきたいと意気込みを示した。同発電機のPRを全国的に展開していきたいとも強調。

国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)で、国土交通省によって運営されている、民間企業等により開発された新技術に係る情報を共有および提供するためのデータベース)に登録され、この建設技術展示館で展示を行うこととなった。

同発電機は、設置場所の省スペース化を図ることができ、筐体内LPガス容器だけで72時間以上の連続運転が可能。

なお、建設技術展示館は、国民の安全・安心を確保するための社会資本整備および維持管理を効率的かつ効果的に行うことを目的に、建設技術を中心とした最新技術を紹介する展示施設(平成11年度開設)。